



株主レポート 2011年3月1日→2011年11月30日

第27期 第3四半期報告書 株式会社メディカルー光

差 出 人

三重県津市藤方501番地の62(〒514-0815)
株式会社メディカルー光 総務人事部
電話059-226-1193

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

①開く

濡れている場合はよく乾かしてからめくってください

平成24年2月期 第3四半期業績(連結)

連結売上高 145億13百万円(前年同期比 8.4%増)

連結経常利益 8億32百万円(前年同期比19.4%増)

連結四半期純利益 5億19百万円(前年同期比32.9%増)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第27期第3四半期連結累計期間の業績を報告させていただくため、株主レポートをお届けしました。

当第3四半期におけるわが国の経済は、東日本大震災の被害を受けたサプライチェーンが回復する一方で、海外経済の減速や円高の影響を受けて依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の中、当社グループの連結業績は過去最高となりました。

調剤薬局事業は、既存店舗の売上げが好調であったことにより、引き続き増収増益を果たしました。当期間にM&Aと新規開発により3店舗を出店し、グループの調剤薬局は78店舗となりました。ヘルスケア事業は大幅増収となりました。医薬品卸事業は、積極的な営業活動の推進により増収となりました。

今後も、医療・介護を軸として事業を展開し、さらなる企業価値の向上と安定した収益体制の構築に取り組んでまいります。

株主の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 南野 利久



● 月別売上実績(連結)

※各四半期計の下段()内は経常利益

	3	4	5	第1四半期計	6	7	8	第2四半期計
第26期	1,585	1,530	1,379	4,495 (219)	1,464	1,497	1,462	8,920 (429)
第27期	1,688	1,626	1,539	4,854 (319)	1,578	1,565	1,623	9,621 (570)

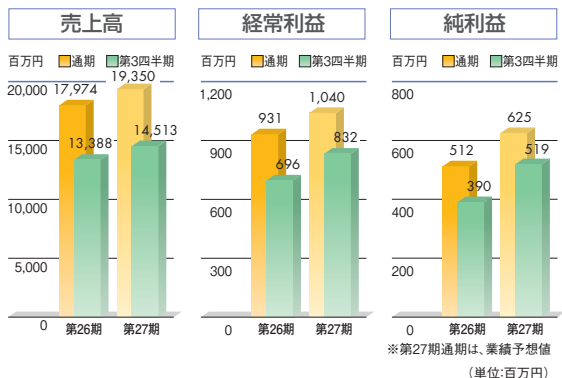
業績ハイライト

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、主力である調剤薬局事業をはじめ、ヘルスケア事業、医薬品卸事業、不動産事業ともに前年を上回り、145億13百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

また、連結経常利益は、8億32百万円（前年同期比19.4%増）、同四半期純利益は5億19百万円（前年同期比32.9%増）となり、増収増益を確保いたしました。

平成24年2月期における通期の連結業績は、売上高193億50百万円（前期比7.7%増）、経常利益10億40百万円（前期比11.7%増）、当期純利益6億25百万円（前期比21.9%増）を計画しております。

平成24年2月期 第3四半期業績の概況（連結）



9	10	11	第3四半期計	12	1	2	通期計
1,455	1,508	1,504	13,388 (696)	1,634	1,493	1,458	17,974 (931)
1,591	1,654	1,645	14,513 (832)				

会社概要（平成23年11月30日現在）

商 号	株式会社メディカルー光
設 立	昭和60年4月17日
本 社 所 在 地	三重県津市藤方501番地の62
資 本 金	9億1,700万円
事 業 内 容	調剤薬局事業・ヘルスケア事業 医薬品卸事業・不動産事業
重 要 な 子 会 社	株式会社ヘルスケアー光 株式会社メディシンー光 平安薬局株式会社 有限会社メデコア 株式会社山梨薬剤センター 有限会社クローバー (以上 100%出資子会社)
従 業 員 数	750名（グループ総数）
調剤薬局店舗数	78店舗
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.m-ikkou.co.jp/
E メ ー ル	ir@m-ikkou.co.jp

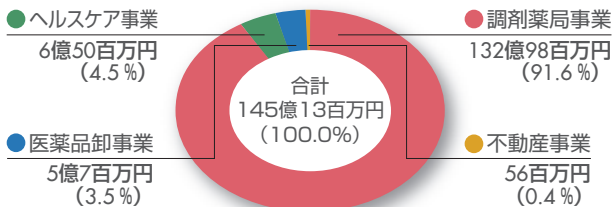


株式会社 **メディカルー光**

部門別ハイライト

当社グループは、調剤薬局事業を主力として、ヘルスケア事業、医薬品卸事業、不動産事業の4事業を展開しております。

セグメント別売上高



※ ()内は構成比



調剤薬局事業

既存店舗が計画を上回ったことにより、売上高は前年同期比7.2%増の132億98百万円、営業利益は前年同期比17.1%増の11億1百万円となりました。



ヘルスケア事業

前年同期以降に2施設の有料老人ホームを新規開設し、現在6施設を運営しております。売上高は前年同期比47.0%増の6億50百万円となりました。



医薬品卸事業

ジェネリック医薬品の市場が拡大する中で、ジェネリックメーカーは多品種少量生産が求められております。当社はきめ細かい営業活動を行った結果、売上高は前年同期比3.7%増の5億7百万円となりました。(内部売上高を含む売上高は、前年同期比9.5%増の7億27百万円)



不動産事業

保有する不動産からの安定した賃料収入により、売上高は前年同期比1.2%増の56百万円となりました。

トピックス

● M&Aと新規開発により調剤薬局3店舗を出店

当第3四半期中に、埼玉県2店舗、京都府1店舗の計3店舗を出店したことにより、当社グループの総店舗数は78店舗となりました。
(平成23年11月30日現在)

埼玉県 有限会社クローバーの子会社化(9月1日)



狭山ヶ丘薬局(埼玉県所沢市)



大間野薬局(埼玉県越谷市)

京都府 新規開発による出店(11月1日)



フラワー薬局 北ノ口店(京都府京都市)



● 薬剤師教育セミナーの開催

11月に社内研修「薬剤師教育セミナー」を開催し、外部講師による講演、スキルアップ研修、薬局業務に関する自主研究発表を行いました。薬局業務の品質(知識・スピード・接遇・コミュニケーション能力)向上に向け、人材育成に継続的に取り組んでおります。

